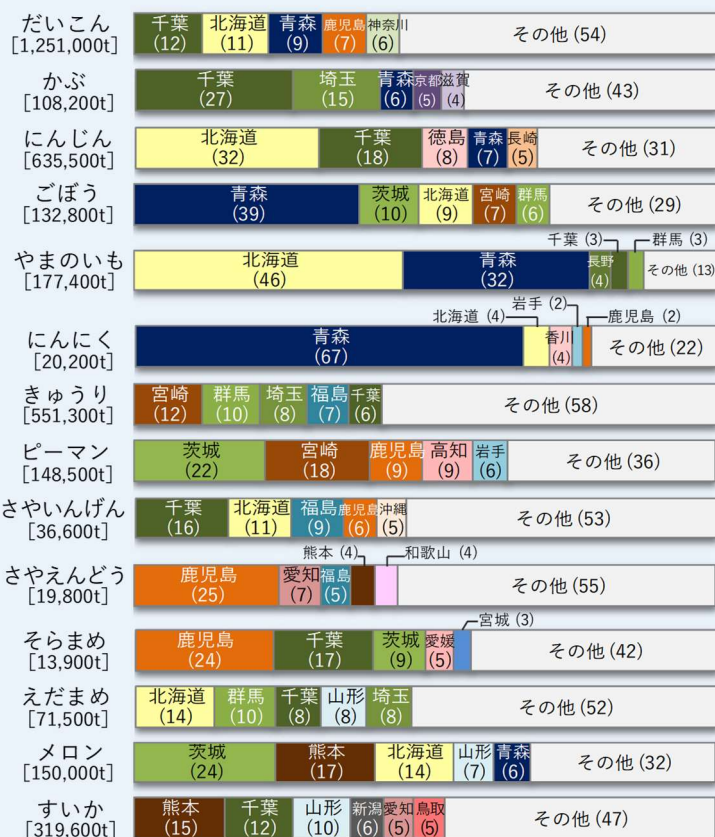


テーマは「野菜の生産量（令和3年産）」

14品目で全国5位以内にランクイン

令和3年産野菜生産量（収穫量）について、東北6県の生産量を品目別にみると、調査対象41品目※のうち、全国5位以内に東北の県がランクインした品目は、14品目となっています（図1）。

図1 東北の県が全国5位以内にランクインした品目と当該品目の上位道府県別構成割合（令和3年産、生産量）



注：[] は全国収穫量、() は当該道府県の構成割合。構成割合は、表示単位未満をラウンドしているため、合計が100にならない場合がある。

まふ Maff Navi 東北

Vol.15 [令和5年3月]

「まふナビ東北」では、農林水産省が実施している統計調査結果から、「東北地域」にクローズアップした情報をお届けします。

[発行]
農林水産省 東北農政局統計部

特に青森県はごぼう、にんにくの全国1位を含む7品目が該当し、山形県と福島県は3品目、岩手県は2品目、宮城県は1品目が該当しています（下表）。

これら14品目の道府県別構成割合をみると、青森県はにんにくで7割近く、ごぼう、やまのいもで3割以上の高い全国シェアとなっています。ほかに、1割以上を占める品目は山形県のすいかがあります。残りの10品目は1割未満の全国シェアとなっており、北海道や関東、九州の県で割合が高くなっています（図1）。

表 東北の県が全国5位以内にランクインした品目と全国順位（令和3年産、生産量）

	根菜類					葉茎菜類		果菜類					果実的野菜	
	だいこん	かぶ	にんじん	ごぼう	やまのいも	にんにく	きゅうり	ピーマン	さやいんげん	さやえんどう	そらめ	えだめ	メロン	すいか
青森	3	3	4	1	2	1	25	8	14	19	17	15	5	14
岩手	11	...	20	...	6	4	14	5	23	16	...	17
宮城	27	12	12	8	24	5	10
秋田	19	21	9	8	21	...	12	11	16	6	9	11
山形	21	8	15	20	15	4	4	3
福島	16	16	23	6	4	10	3	3	...	16

注：全国5位以内の順位を赤字で表示した。「…」は主産県調査のため調査対象外のもの。

■全国調査年と主産県調査年

作物の収穫量等を把握する「作物統計調査（野菜）」では、41品目※を対象に、全ての都道府県を対象とする「全国調査」（作付面積は3年周期、収穫量等は6年周期で実施し、直近は平成28年産）と全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県等を対象とする「主産県調査」を実施しています。なお、令和3年産は主産県調査年でした。

用語説明

※41品目：だいこん、かぶ、にんじん、ごぼう、れんこん、ばれいしょ、さといも、やまのいも、きゅうり、かぼちゃ、なす、トマト、ピーマン、スイートコーン、さやいんげん、さやえんどう、グリーンピース、そらめ、えだめ、しょうが、はくさい、こまつな、キャベツ、ちんげんさい、ほうれんそう、ふき、みつば、しゅんぎく、みずな、セリリー、アスパラガス、カリフラワー、ブロッコリー、レタス、ねぎ、にら、たまねぎ、にんにく、いちご、メロン、すいか

東北6県の野菜生産量の特徴 ～根菜類の生産が盛んな青森県～

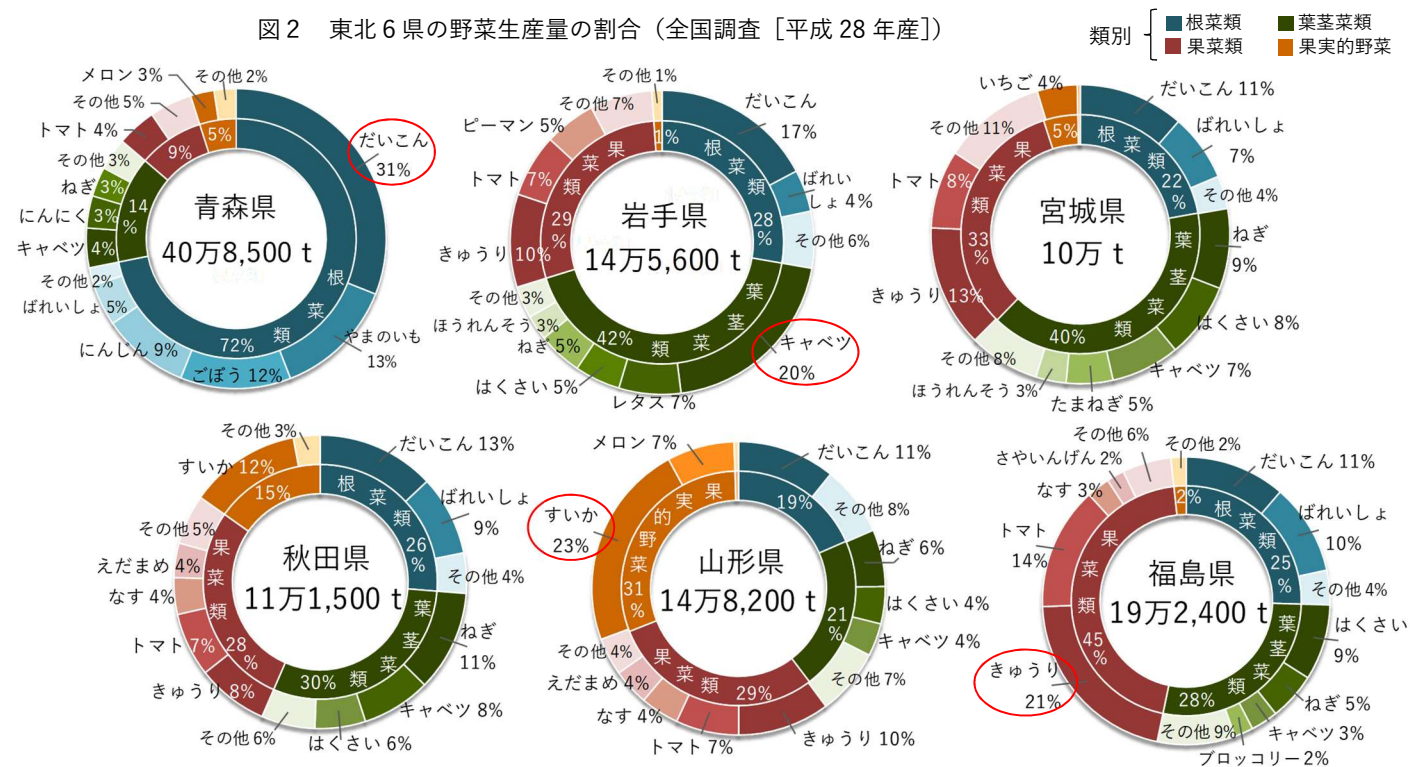
全国調査※（平成28年産）結果から東北各県の野菜生産総量とその特徴をみると、青森県は約41万tと東北6県の中ではダントツで多く、だいこん（31%）をはじめとする根菜類が県内生産量の約7割を占めています。

次いで、生産量が多いのは福島県の約19万tで、きゅうり（21%）を含む果菜類が県内生産量の5割近くを占めています。

山形県と岩手県の生産量は約15万tで、山形県ではすいか（23%）を含む果実的野菜が県内生産量の約3割を占め、岩手県ではキャベツ（20%）を含む葉茎菜類が県内生産量の約4割を占めています。

秋田県は約11万t、宮城県は10万tで、他の4県のように20%を超える品目はありませんが、両県とも葉茎菜類の割合が最も高く、秋田県が県内生産量の3割、宮城県が同4割を占めています。

図2 東北6県の野菜生産量の割合（全国調査〔平成28年産〕）



※ 全国調査（平成28年産）では調査対象41品目全てを調査していることから、この結果を用いて類別、品目別に比較した。

注：グラフは、各県の生産量の多い10位までの品目名を表示し、それ以外の品目は各類別のその他に合算した。

表示単位未満をラウンドしているため、内訳の計が合計と一致しない場合がある。

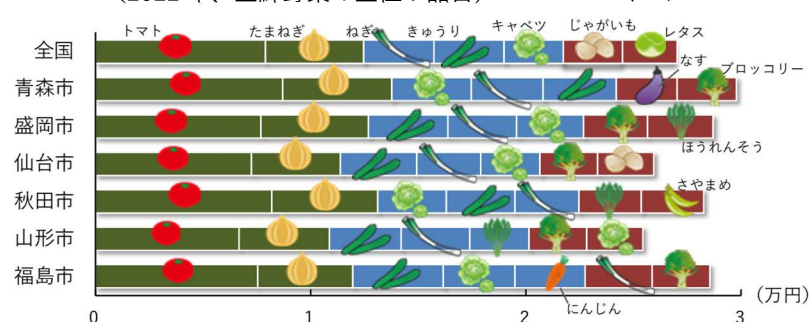
野菜の家計支出

総務省の家計調査結果（都道府県庁所在市別1世帯当たり支出金額）から、全国、東北6県の県庁所在市における生鮮野菜の支出金額が高い品目をみると、全国、東北6県ともトマトが1位、たまねぎが2位、3～5位では、ねぎ、きゅうり、キャベツが多い結果となっています。5位以降は地域によって若干異なり、

青森市ではなす、秋田市ではさやまめ、福島市ではにんじんが入ってきますので、地域の食文化が影響しているのかもしれません。

トマトが1位という結果を意外に思う方がいるかもしれませんが、農林水産省が実施している「青果物卸売市場調査」結果でもトマトは2,000億円を超える卸売価額（全国）で、野菜の中で最も価額が大きい品目であることから、この結果はうなずけます。皆さんのご家庭ではどうでしょうか。

都道府県庁所在市別1世帯当たり支出金額（2022年、生鮮野菜の上位7品目）



出典：総務省統計局「家計調査結果（二人以上の世帯）」（<https://www.stat.go.jp/data/kakei/>）

Tips 豆知識

-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

野菜の作付面積、収穫量、累年データ、用語解説など、「作物統計作況調査（野菜）」の詳しい情報はこちらからご覧いただけます。

農林水産省ホームページ https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/

